

敬老会は中止となります

福祉課 高齢介護係 ☎(83)1226

高齢者の長寿をお祝いし、感謝の意を表す催しとして開催している敬老会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、今年度も中止とさせていただきます。

敬老祝い金対象の方には、個別にご案内いたします。

また、敬老祝品については新型コロナウイルス感染症予防と熱中症対策のため、「不織布マスク」と「冷感タオル」を地区民生委員などが訪問し、お届けします。

8月になると30℃を超える日が多くなりますが、エアコンなどを使い、適切な室温を保ちつつ適度な換気を行いながら暑い夏を乗りきりましょう。

【敬老祝い金の対象者】

令和3年9月15日に、町住民基本台帳に登録されており、1年以上町内に居住されている次の年齢の方

- 88歳（昭和7年9月16日〜）
- 8年9月15日生まれ） 1万円
- 99歳（大正10年9月16日〜）
- 11年9月15日生まれ） 5万円

人権擁護委員 富士原洋子さんが退任・鍵和田貴実代さんが新任

福祉課 福祉推進係

☎(83)1226



鍵和田貴実代さん
(仲町自治会)

人権擁護委員は、人権擁護委員法

に基づいて、人権相談を受けたり、人権啓発活動などを行う民間ボランティアです。この制度は、地域住民の中から人格見識の優れた人たちを選び、その協力を得て、国民の日常生活の中で人権尊重思想の普及高揚を図るとともに、人権侵害による被害者を救済していくという考えから設け

られたものです。

町では、5人の方々が人権擁護委員として活動されていますが、7月1日をもって富士原洋子さんが退任されました。また同日より新たに鍵和田貴実代さんが法務大臣からの委嘱を受け、人権擁護委員に就任されました。

鼓動

〜コドウ〜

松田町長 本山博幸

「四年に一度」努力は報われる

夏の日差しが眩しく感じるこの頃、今年も暑い夏がやってきました。コロナ禍で制限される中、頑張ってきた高校球児にエールを贈ります。

新型コロナウイルス対策の切り札としてワクチン接種を進めていますが、本年7月末までに65歳以上の希望者への接種がほぼ完了しました。6月下旬から町内での公的活動を担っている自治会役員や教育従事者、消防団や交通指導隊とその家族などへの先行接種を開始し、7月上旬には64歳以下の方への接種を順次進めています。

松田町が他の自治体よりも早い理由は、災害と同様の危機感を持ち町民の皆さまが不安にならないよう常に一歩先を見据えた準備と配慮を行ったことにより、医療従事者と町民、役場の三者の理解と協力が一丸となって得られた結果です。

今後、国からのワクチン供給スピードが遅くなりますが、一日でも早く町民皆さまが安心した生活がおくれるよう10月末の接種完了を目指し、引き続きワクチンの確保・接種に取り組んでまいります。

さて東京オリンピックが7月23日に開幕しました。昨年はコロナの影響により延期となりましたが、一年延期されたことで夢を叶えた水泳競技の池江璃花子選手は、闘病・リハビリを経て「自分の努力を信じてトライ」した結果、見事に日本代表選手となりました。4年に一度のオリンピックに懸ける想い、精神的な強さは、それまでに積み重ねてきた「努力」と「自信」があるからこそです。私は、「不可能を可能にできる」のは、常に「熱い志」を持ち「諦めない人」だと思っています。

私もオリンピック選手を見習い「努力を惜しまず熱い志」をもって「町民一丸」でコロナ禍を乗り越え、皆さまが安全・安心で安定した生活が送れるよう、しっかりと町政運営に取り組んでまいります。引き続き、ご指導・ご鞭撻を何卒宜しくお願いいたします。